

私立幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行に関する意向調査

質問票

(認定こども園向け)

<回答方法>

- ・選択型の質問については、数字（1， 2， 3…），記号（ア， イ， ウ…）に○をつけてください。
- ・記述型の質問については、欄に記載してください。

<これ以降（問6まで）は国が設定した質問です。>

まず最初に、貴施設の基本情報を記入してください。

1. 施設名 認定こども園の名称 _____

幼稚園の名称 _____

2. 設置者名 _____

3. 所在市町村名 _____

4. 認定こども園の類型 ア. 幼保連携型 イ. 幼稚園型

5. 認可された園則上の収容定員（認可定員） _____人

※定員数は、平成26年5月1日現在の状況を記入してください。

(内訳)

幼保連携型の場合 幼稚園部分 _____人

保育所部分 _____人

幼稚園型の場合 幼稚園部分 _____人

保育機能施設部分 _____人

(接続型・並列型に限る。)

過去の幼稚園児数を記入してください。

区分	平成 24 年度末	平成 25 年度末
満 3 歳	人	人
3 歳	人	人
4 歳	人	人
5 歳	人	人
計	人	人

次に、貴施設の平成 26 年度現在の利用状況について記入してください。

<p>1. 在籍園児数 _____人 ※平成 26 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。 (内訳)</p> <p>①下記②, ③以外の幼児 (教育時間のみ在籍) _____人</p> <p>②保育に欠ける幼児(*1) (3 歳以上) _____人</p> <p>③保育に欠ける乳児又は幼児(*1) (3 歳未満) _____人 <small>(*1) 児童福祉法第 39 条第 1 項に規定する乳児又は幼児</small></p> <p>①のうち平成 25 年度中に満 3 歳児となったため入園した者 (平成 22 年 4 月 2 日～平成 23 年 4 月 1 日生まれの者に限る。) _____人</p> <p>2. 園児の居住市町村別の内訳</p> <p>ア 全園児が施設の所在市町村に居住している。</p> <p>イ 施設の所在市町村以外の市町村から通う園児がいるが、内訳は特に把握していない。</p> <p>ウ 園児の居住市町村の状況を把握している。⇒内訳を記入してください。 ※平成 26 年 5 月 1 日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">市町村の名称</th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">園児数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	市町村の名称						園児数					
市町村の名称												
園児数												

②（問1で「1」を回答した方と問2を回答した方に伺います。）

認定こども園の教育標準時間認定子ども（1号定員）の預かり保育については、一時預かり事業（幼稚園型）により実施する予定はありますか。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 希望する。（1日当たりの想定人数 _____人） |
| 2. 実施する方向で検討している。（1日当たりの想定人数 _____人） |
| 3. 希望しない。 |

※ 新制度へ移行する園における預かり保育に対する財政支援については、私学助成の預かり保育補助ではなく、市町村の行う一時預かり事業（幼稚園型）が基本となります。

⇒問7に進んでください。

問4

①（問1で「3」を回答した方に伺います。）

現在検討している対応はどちらですか。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園又は幼稚園と保育所に戻ることを検討している。⇒②に進んでください。 |
| 2. 上記以外の対応を検討している。具体的に記述してください。⇒問7に進んでください。 |
| 〔 _____ 〕 |

②（問4①で「1」を回答した方に伺います。）

幼稚園又は幼稚園と保育所に戻ることを検討している場合、幼稚園については、引き続き私学助成を受けることを希望していますか。それとも新制度へ移行して施設型給付を受けることを希望していますか。

- | |
|--|
| 1. 私学助成を受けることを希望している。⇒問5に進んでください。 |
| 2. 新制度に移行して施設型給付を受けることを希望している。⇒問6に進んでください。 |

※ 認定こども園から戻る幼稚園についても、通常の場合と同様に、私学助成と施設型給付を選択することができます。

※ 幼稚園型認定こども園の保育機能部分に対する財政支援については、現在のところ、安心こども基金による認定こども園事業費を受けることが可能ですが、幼稚園に戻る場合には、これを受けることができなくなります。その場合、保育に欠ける子どもの保育の継続に支障のないよう、一時預かり事業（幼稚園型）や小規模保育事業等の適切な実施を検討することが必要です（問5参照）。

問5

① (問4②で「1」を回答した方に伺います。)

幼稚園について施設型給付を受けない場合でも、預かり保育について、市町村の一時預かり事業(幼稚園型)により実施することも可能ですが、その予定はありますか。

1. 希望する。(1日当たりの想定人数_____人)
2. 実施する方向で検討している。(1日当たりの想定人数_____人)
3. 希望しない。

② (問4②で「1」を回答した方に伺います。)

幼稚園について施設型給付を受けない場合でも、満3歳未満の保育認定子ども(3号定員)について、小規模保育事業等(所在市町村の認可が必要)を幼稚園で併設して実施することも可能ですが、その予定はありますか。もし予定がある場合は、事業の利用定員は何人を想定していますか。

1. 実施を希望する(事業の想定利用定員_____人)
(例:現在幼稚園型認定こども園で満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れているため、幼稚園に戻った後の受け皿として小規模保育事業等の実施が必要。)
2. 実施する方向で検討している。
具体的な移行時期
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
3. 実施を希望しない
(例1:満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れていない。
例2:現在幼保連携型認定こども園で満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れており、引き続き保育所で受け入れることが可能であるため、小規模保育事業等の実施は不要。)

※ 小規模保育事業等には家庭的保育事業を含みます。3号認定子どもを対象として、定員が6人から19人の場合は小規模保育事業、5人以下の場合は家庭的保育事業を実施することができます。

⇒問7に進んでください。

問6

① (問4②で「2」を回答した方に伺います。)

新制度に移行する時期は、いつを予定していますか。

- | |
|--|
| 1. 平成27年度を予定している。⇒②及び③に進んでください。 |
| 2. 平成28年度以降で検討している。⇒④に進んでください。 |
| 具体的な移行時期 |
| ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降 |

② (問4②で「2」を回答した方に伺います。)

平成27年度以降の幼稚園の利用定員は何人を想定していますか。

_____人

※ 施設型給付の対象施設として確認を受ける際に、認可定員の範囲内で利用定員を設定することができます。なお、認可定員を超える利用定員を想定している場合は、認可定員の増加に係る園則変更の認可を得ることが必要となりますのでご注意ください。恒常的に認可定員を下回っている場合は、過大な利用定員は実態に合わない低い公定価格単価が適用されることにつながりますので、利用状況に応じた適切な利用定員を考えていく必要があります。

⇒問7に進んでください。

③ (問4②で「2」を回答した方に伺います。)

預かり保育については、一時預かり事業(幼稚園型)により実施する予定はありますか。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 希望する。(1日当たりの想定人数_____人) |
| 2. 実施する方向で検討している。(1日当たりの想定人数_____人) |
| 3. 希望しない。 |

※ 新制度へ移行する園における預かり保育に対する財政支援については、私学助成の預かり保育補助ではなく、市町村の行う一時預かり事業(幼稚園型)が基本となります。

⇒⑤に進んでください。

④ (問4②で「2」を回答した方に伺います。)

新制度移行後における利用定員は何人を想定していますか。

_____人

⇒⑤に進んでください。

⑤ (問4②で「2」を回答した方に伺います。)

満3歳未満の保育認定子ども(3号定員)について、小規模保育事業等(所在市町村の認可が必要)を幼稚園で併設して実施することも可能ですが、その予定はありますか。もし予定がある場合は、事業の利用定員は何人を想定していますか。

<p>1. 実施を希望する。(事業の想定利用定員_____人) (例: 現在幼稚園型認定こども園で満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れているため、幼稚園に戻った後の受け皿として小規模保育事業等の実施が必要。)</p> <p>2. 実施する方向で検討している。</p> <p>3. 実施を希望しない。 (例1: 満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れていない。 例2: 現在幼保連携型認定こども園で満3歳未満の保育に欠ける子どもを受け入れており、引き続き保育所で受け入れることが可能であるため、小規模保育事業等の実施は不要。)</p>

※ 小規模保育事業等には家庭的保育事業を含みます。3号認定子どもを対象として、定員が6人から19人の場合は小規模保育事業、5人以下の場合は家庭的保育事業を実施することができます。

⇒問7に進んでください。

＜これ以降（問9まで）は市からお伺いする質問です。＞

〔認可定員の変更等〕

問7

- ① 平成27年度において、貴施設における利用定員の設定にあたり、現在の認可定員を変更する予定がありますか。

1. 認可定員を変更する予定である。 ⇒②に進んでください。
2. 認可定員を変更する予定はない。 ⇒問8に進んでください。

- ②（①で「1」を回答した方に伺います。）

現時点で予定している変更後の認可定員は何名ですか。

変更後の認可定員 _____ 人

※ 「認可定員」については、1号、2号、3号認定の子どもの合計数であり、原則的に「認可定員」≥「利用定員」となるように設定することが必要です。

⇒問8に進んでください。

〔施設の整備〕

問8

- ① 平成27年度以降施設の整備を想定していますか。

1. 施設の整備を想定している。
（整備年度について、具体的に記述してください。）
ア 平成27年度 イ 平成28年度 ウ 平成29年度
エ 平成30年度以降
⇒②に進んでください。
2. 施設の整備を想定していない。 ⇒問9に進んでください。

- ② どのような施設の整備を想定していますか。

1. 増改築など（園舎全体における大規模な整備）
2. 施設の改修など（園舎全体における中規模な整備）
3. 施設の一部改修による保育室、便所などの整備など（施設の一部における規模の小さな整備）
4. 分園など上記以外の対応を検討している。
（具体的に記述してください。）

[]

〔地域子ども・子育て支援事業の実施希望〕

問9

- ① 平成27年度以降、貴施設において「地域子ども・子育て支援事業」の実施希望はありますか。ある場合については、下表の事業を選択の上、現時点で想定している利用者数の概数や、実施スペースについてお書きください。
 なお、現時点で実施している事業がある場合については実施している事業を選択いただき、実際の利用者数や実施スペースをお書きください。

事業名	内容	希望等	利用者数概数※	実施スペース
地域子育て支援拠点事業 (子育てサロン)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 〕
一時預かり事業 (保育所型)	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かり、必要な保護を行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 〕
時間外保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	/
病児保育事業	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 〕

※ 利用者数概数は、年、月、日のいずれかの単位で記入してください。

- ② (①で「時間外保育事業」について、「1. 実施している。」「2. 実施を希望する。」または「3. 実施する方向で検討している。」を回答した方に伺います。)

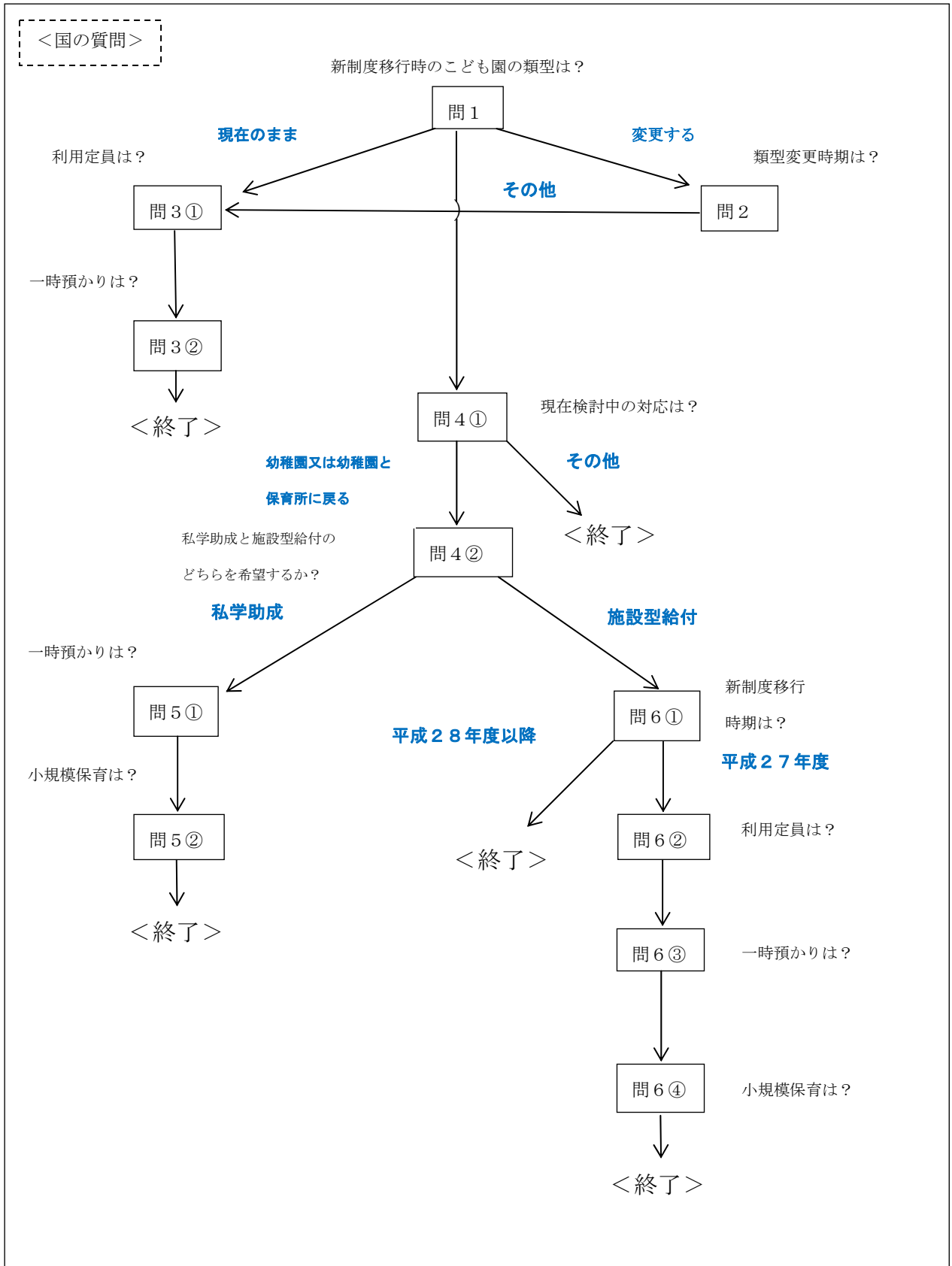
「時間外保育事業」を実施するにあたって、実施する曜日、時間などをどのように想定していますか。実施する曜日、時間などを下記から選択してください。

(日曜日、祝日等における保育の実施(休日保育)については、施設型給付の対象となりますが、併せて意向をご記入ください。)

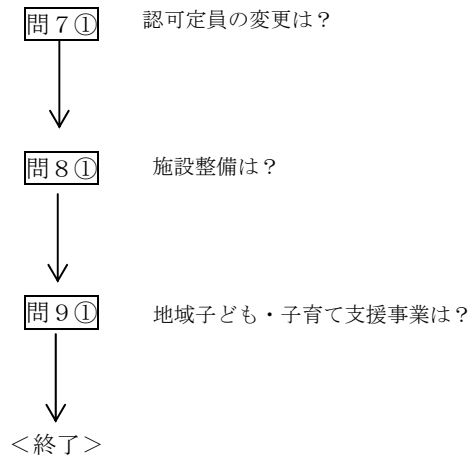
曜日	実施の有無	実施時間
平日	実施する・実施しない	: ~ :
土曜日	実施する・実施しない	: ~ :
日曜日 祝日等	実施する・実施しない	: ~ :

⇒以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

質問票フローチャート（認定こども園向け）



<市の質問>



私立幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行に関する意向調査

質問票

(現在認定こども園ではない私立幼稚園向け)

<回答方法>

- ・選択型の質問については、数字（1， 2， 3…），記号（ア， イ， ウ…）に○をつけてください。
- ・記述型の質問については、欄に記載してください。

<これ以降（問2まで）は国が設定した質問です。>

まず最初に、貴施設の基本情報を記入してください。

1. 施設名 _____
2. 設置者名 _____
3. 所在市町村名 _____
4. 認可された園則上の収容定員（認可定員） _____人
※定員数は、平成26年5月1日現在の状況を記入してください。

過去の園児数を記入してください。

区分	平成24年度末	平成25年度末
満3歳	人	人
3歳	人	人
4歳	人	人
5歳	人	人
計	人	人

次に、貴施設の平成 26 年度現在の利用状況について記入してください。

1. 在籍園児数

満 3 歳以上の幼児 _____ 人

※平成 26 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。

上記のうち平成 25 年度中に満 3 歳児となったため入園した者（平成 22 年 4 月 2 日～平成 23 年 4 月 1 日生まれの者に限る。） _____ 人

2. 園児の居住市町村別の内訳

ア 全園児が施設の所在市町村に居住している。

イ 施設の所在市町村以外の市町村から通う園児がいるが、内訳は特に把握していない。

ウ 園児の居住市町村の状況を把握している。⇒内訳を記入してください。

※満 3 歳以上の幼児（平成 26 年 5 月 1 日現在）

市町村の名称					
園児数					

3. 預かり保育の状況

ア 実施していない。

イ 実施している。⇒平日、休業日（土曜日、日曜日及び祝日）及び長期休業日（夏期、冬期及び春期休業日）における 1 日当たり利用人数、1 日の開園時間（教育時間と預かり保育の最大実施時間の合計）並びに担当職員数を記入してください。

	1 日当たり利用人数	1 日の開園時間	実施時の担当職員数
平日			
休業日			
長期休業日			

4. 上記 3 の状況について、平成 27 年度以降の状況が大きく変更する見込みである場合は、その旨及び見込数を併記してください。

5. 保護者の就労等による預かり保育の利用状況

保護者のいずれもが就労している（パートタイムを含みます。）などの事由により預かり保育の利用頻度の高い園児数を記入してください。

ア 1日当たり _____人

イ 特に把握していない。

6. 未就園児の受け入れ状況

子育て支援活動の中で、満3歳未満の未就園児について、保護者が同伴しない形での受け入れを定期的に行っている場合は、その状況を記入してください。

週当たり実施日数 _____人, 1日当たり利用人数 _____人

うち、保護者のいずれもが就労している（パートタイムを含みます。）などの事由により利用頻度の高い人数 1日当たり _____人

〔平成27年度（新制度施行1年目）の予定〕

問1 子ども・子育て支援新制度への移行（施設型給付の対象施設として、市町村から子ども・子育て支援法に基づく確認を受けること。以下同じ。）について、現時点での貴施設における平成27年度（新制度施行1年目）の対応方針をお答えください。

① 平成27年度（新制度施行1年目）から新制度への移行を予定していますか。

1. 平成27年度は移行しない予定である。⇒②に進んでください。
2. 平成27年度は移行しない方向で検討中。⇒②に進んでください。
3. 平成27年度から移行する予定である。⇒④に進んでください。
4. 平成27年度から移行する方向で検討中。⇒④に進んでください。

※ 新制度への移行に関する正式な手続は、子ども・子育て支援法に基づく確認（みなし確認）又は別段の申出の関係書類により行うこととなります。その手続については、今後、施設の所在市町村から案内を受けることとなりますが、今回の調査に対する回答内容に拘束されるものではありません。

② 問1①で「1」「2」を回答した方に伺います。幼稚園について施設型給付を受けない場合でも、預かり保育について、市町村の一時預かり事業（幼稚園型）により実施することも可能ですが、その予定はありますか。

1. 希望する。（1日当たりの想定人数_____人）
2. 実施する方向で検討している。（1日当たりの想定人数_____人）
3. 希望しない。

- ③ 問1①で「1」「2」を回答した方に伺います。幼稚園について施設型給付を受けない場合でも、満3歳未満の保育認定子ども（3号定員）について、小規模保育事業等（所在市町村の認可が必要）を幼稚園で併設して実施することも可能ですが、その予定はありますか。事業の利用定員は何人を想定していますか。

1. 実施を希望する。(事業の想定利用定員_____人)
2. 実施する方向で検討している。
具体的な移行時期
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
3. 実施を希望しない。

※ 小規模保育事業等には家庭的保育事業を含みます。3号認定子どもを対象として、定員が6人から19人の場合は小規模保育事業、5人以下の場合は家庭的保育事業を実施することができます。

⇒問2①に進んでください。

- ④ 問1①で「3」「4」を回答した方に伺います。平成27年度の新制度への移行に当たっては、幼稚園のまま移行する予定ですか。それとも認定こども園（幼保連携型又は幼稚園型）の認可・認定を受けたうえで移行する予定ですか。

1. 幼稚園のままの予定である。⇒⑤に進んでください。
2. 幼稚園のままの方向で検討中である。⇒⑤に進んでください。
3. 認定こども園となって移行する予定である。⇒⑧に進んでください。
4. 認定こども園となって移行する方向で検討中である。⇒⑧に進んでください。
5. 検討中である。⇒問2②に進んでください。

- ⑤ 問1④で「1」「2」を回答した方に伺います。平成27年度以降の幼稚園の利用定員は何人を想定していますか。

1号定員_____人

※ 施設型給付の対象施設として確認を受ける際に、認可定員の範囲内で利用定員を設定することができます。なお、認可定員を超える利用定員を想定している場合は、認可定員の増加に係る園則変更の認可を得ることが必要となりますのでご注意ください。恒常的に認可定員を下回っている場合は、過大な利用定員は実態に合わない低い公定価格単価が適用されることにつながりますので、

利用状況に応じた適切な利用定員を考えていく必要があります。

- ⑥ 問1④で「1」「2」を回答した方に伺います。預かり保育については、一時預かり事業（幼稚園型）により実施する予定はありますか。

1. 希望する。（1日当たりの想定人数_____人）
2. 実施する方向で検討している。（1日当たりの想定人数_____人）
3. 希望しない。

※ 新制度へ移行する園における預かり保育に対する財政支援については、私学助成の預かり保育補助ではなく、市町村の行う一時預かり事業（幼稚園型）が基本となります。

- ⑦ 問1④で「1」「2」を回答した方に伺います。満3歳未満の保育認定子ども（3号定員）について、小規模保育事業等（所在市町村の認可が必要）を幼稚園で併設して実施する予定はありますか。事業の利用定員は何人を想定していますか。

1. 実施を希望する。（事業の想定利用定員_____人）
2. 実施する方向で検討している。
具体的な移行時期
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
3. 実施を希望しない。

※ 小規模保育事業等には家庭的保育事業を含みます。3号認定子どもを対象として、定員が6人から19人の場合は小規模保育事業、5人以下の場合は家庭的保育事業を実施することができます。

⇒問2②に進んでください。

⑧ 問1④で「3」「4」を回答した方に伺います。認定こども園は幼保連携型と幼稚園型のいずれを予定していますか。

1. 幼保連携型
2. 幼保連携型の方向で検討中である。
(具体的な移行時期)
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
3. 幼稚園型
4. 幼稚園型の方向で検討中である。
(具体的な移行時期)
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
5. 検討中である。

⑨ ⑧で「2」「4」を回答した方に伺います。平成27年度以降、認定こども園に移行する前までの幼稚園の利用定員は、何人を予定していますか。

1号定員_____人

⑩ 問1④で「3」「4」を回答した方に伺います。認定こども園の利用定員は、教育標準時間認定子ども（1号定員）、保育認定子ども（2号・3号定員）それぞれ何人を予定していますか。

1号認定子ども_____人， 2号認定子ども_____人，
3号認定子ども_____人

⑪ 問1④で「3」「4」を回答した方に伺います。認定こども園の教育標準時間認定子ども（1号定員）の預かり保育については、一時預かり事業（幼稚園型）により実施する予定はありますか。

1. 希望する。 (1日当たりの想定人数_____人)
2. 実施する方向で検討している。(1日当たりの想定人数_____人)
3. 希望しない。

※ 認定こども園の教育標準時間認定子ども（1号定員）の預かり保育に対する財政支援については、私学助成の預かり保育補助ではなく、市町村の行う一時預かり事業（幼稚園型）が原則となります。

〔平成28年度（新制度施行2年目）以降の予定〕

問2 子ども・子育て支援新制度への移行について、現時点での貴施設における平成28年度（新制度施行2年目）以降の対応方針をお答えください。

① 問1①で「1」「2」を回答した方に伺います。平成28年度（新制度施行2年目）以降において新制度への移行を予定していますか。

1. 移行する方向で検討中である。
(具体的な移行時期)
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
⇒②に進んでください。
2. 状況により判断したい。⇒問3④に進んでください。
3. 移行する予定はない。⇒問3④に進んでください。

② 問2①で「1」を回答した方と問1④で「1」「2」「5」を回答した方に伺います。平成28年度（新制度施行2年目）以降において認定こども園に移行する予定はありますか。

1. 幼稚園のままの方向で検討中である。⇒問3④に進んでください。
2. 認定こども園に移行する方向で検討中である。
(具体的な移行時期)
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
⇒③に進んでください。
3. 検討中である。⇒問3④に進んでください。

③ 問2②で「2」を回答した方に伺います。認定こども園に移行する場合、幼保連携型と幼稚園型のいずれを予定していますか。

1. 幼保連携型の方向で検討中である。
2. 幼稚園型の方向で検討中である。
3. 検討中である。

④ 問2②で「2」を回答した方に伺います。認定こども園に移行する場合、認定こども園の利用定員は、教育標準時間認定子ども（1号定員）、保育認定子ども（2号・3号定員）それぞれ何人を予定していますか。

1号認定子ども_____人, 2号認定子ども_____人,
3号認定子ども_____人

⇒問3①に進んでください。

⇒ 問4に進んでください。

- ④ (問1③または⑦で「1」「2」を回答した方(「小規模保育事業等の実施を希望する」または「小規模保育事業等を実施する方向で検討している」方)に伺います。)

小規模保育事業等の実施にあたり、施設の整備を想定していますか。

- | |
|---|
| 1. 施設の整備を想定している。 ⇒⑤に進んでください。
2. 施設の整備を想定していない。 ⇒⑥に進んでください。 |
|---|

- ⑤ (④で「1」を回答した方に伺います。)

小規模保育事業等を実施し、保育を必要とする子どもの受け入れを行うにあたり、どのような整備を想定していますか。

- | |
|--|
| 1. 現在の園の場所において整備を行う。
2. 現在の園の場所以外において整備を行う。 |
|--|

⇒問4に進んでください。

- ⑥ (④で「2」を回答した方に伺います。)

小規模保育事業等を実施し、保育を必要とする子どもの受け入れを行うにあたり、どのような対応により受け入れを行いますか。具体的に記述してください。

()

例：空いている教室を、保育を必要とする子どもの保育に活用

3号の子どもの受け入れのため、既存の給食室において給食を調理し、提供する など

⇒ 問4に進んでください。

〔地域子ども・子育て支援事業の実施〕

問 4

- ① (問1④で「3」「4」を回答した方(平成27年度に「認定こども園と
なつて移行する予定」,「移行する方向で検討中である」方)または問2②で
「2」を回答した方(平成28年度以降に「認定こども園に移行する方向で
検討中である」方)に伺います。)

平成27年度以降,貴施設において「地域子ども・子育て支援事業」の
実施希望はありますか。ある場合については,下表の事業を選択の上,現時
点で想定している利用者数の概数や,実施スペースについてお書きください。

事業名	内容	希望等	利用者数概数※	実施スペース
地域子育て支援 拠点事業 (子育てサロン)	乳幼児及びその保護 者が相互の交流を行 う場所を開設し,子育 てについての相談,情 報の提供,助言その他 の援助を行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検 討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	____人/年 ____人/月 ____人/日	1. 既存施設で 実施 2. 施設整備の 上, 実施 3. その他 〔 〕
一時預かり事業 (保育所型)	家庭において保育を 受けることが一時的 に困難となった乳幼 児について,一時的に 預かり,必要な保護を 行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検 討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	____人/年 ____人/月 ____人/日	1. 既存施設で 実施 2. 施設整備の 上, 実施 3. その他 〔 〕
時間外保育事業	保育認定を受けた子 どもについて,通常の 利用日及び利用時間 以外の日及び時間 において,認定こども 園,保育所等において 保育を実施する事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検 討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	____人/年 ____人/月 ____人/日	/
病児保育事業	病児について,病院・ 保育所等に付設され た専用スペース等 において,看護師等が一 時的に保育等する事 業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検 討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	____人/年 ____人/月 ____人/日	1. 既存施設で 実施 2. 施設整備の 上, 実施 3. その他 〔 〕

※ 利用者数概数は,年,月,日のいずれかの単位で記入してください。

② (①で「時間外保育事業」について、「1. 実施している。」「2. 実施を希望する。」または「3. 実施する方向で検討している。」を回答した方に伺います。)

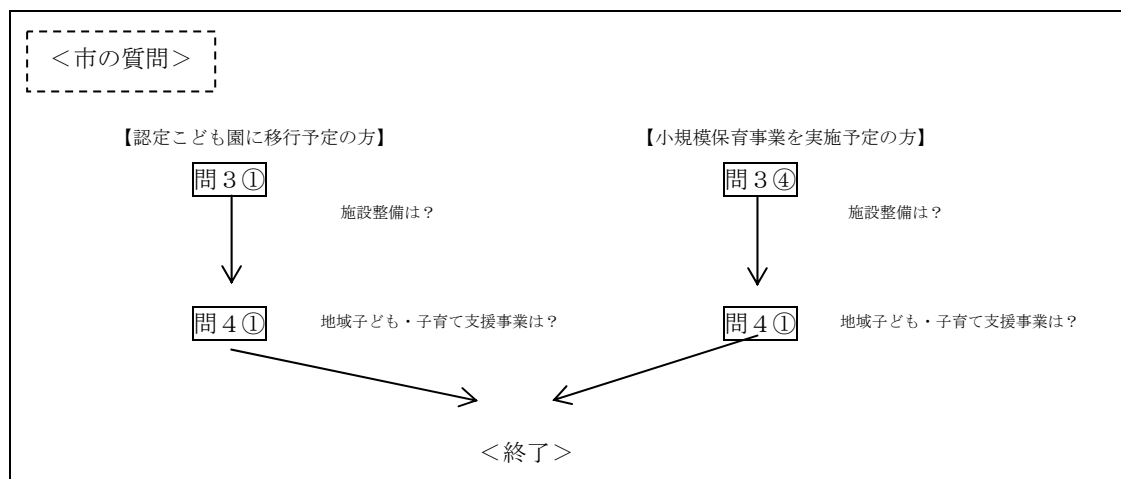
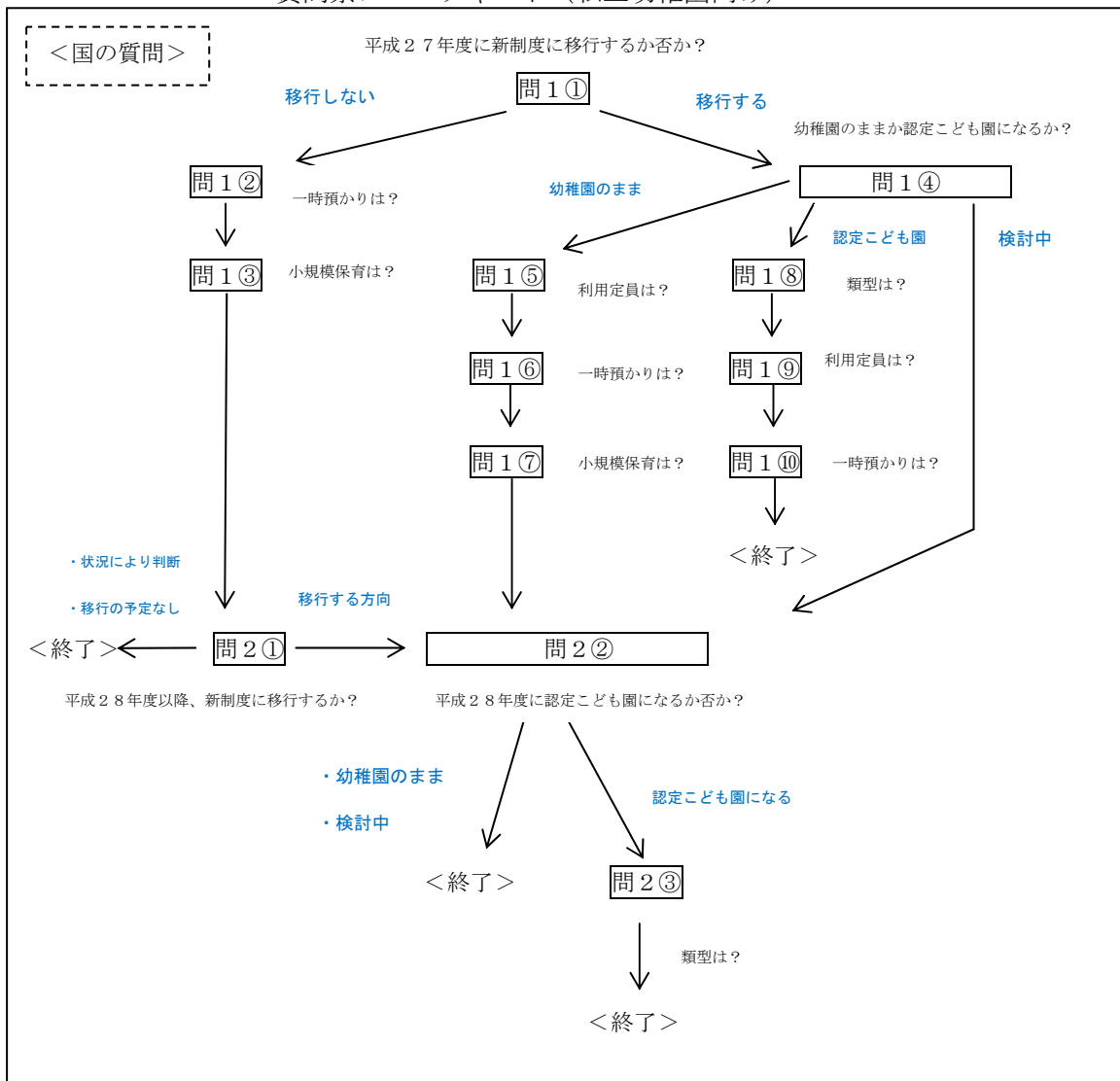
「時間外保育事業」を実施するにあたって、実施する曜日、時間などをどのように想定していますか。実施する曜日、時間などを下記から選択してください。

(日曜日、祝日等における保育の実施(休日保育)については、施設型給付の対象となりますが、併せて意向をご記入ください。)

曜日	実施の有無	実施時間
平日	実施する・実施しない	: ~ :
土曜日	実施する・実施しない	: ~ :
日曜日 祝日等	実施する・実施しない	: ~ :

⇒以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

質問票フローチャート（私立幼稚園向け）



保育所

私立保育所の子ども・子育て支援新制度への移行に関する意向調査

質問票

<回答方法>

- ・ 選択型の質問については、数字（1， 2， 3…），記号（ア， イ， ウ…）に○をつけてください。
- ・ 記述型の質問については、欄に記載してください。

まず最初に、貴施設の基本情報を記入してください。

1. 施設名 _____

2. 設置者名 _____

3. 所在市町村名 _____

4. 認可定員 _____ 人

※認可定員数は、平成26年4月1日現在の状況を記入してください。

〔平成27年度（新制度施行1年目）以降の予定〕

問1 平成27年度以降について、現時点での貴施設における今後の対応方針をお答えください。

1. 現在の保育所として新制度に移行する。⇒問3①に進んでください。
2. 認定こども園へ移行した上で新制度に移行する。
認定こども園移行後の類型 1. 幼保連携型 2. 保育所型
⇒問2に進んでください。
3. 上記以外の対応を検討している。 ⇒問4に進んでください。
(具体的に記述してください。)

()

※ 新制度への移行に関する正式な手続は、子ども・子育て支援法に基づく確認（みなし確認）又は別段の申出の関係書類により行うこととなります。その手続については、今後、施設の所在市町村から案内を受けることとなりますが、今回の調査に対する回答内容に拘束されるものではありません。

問2 (問1で「2」を回答した方に伺います。)

認定こども園へ移行する時期は、いつを予定していますか。

1. 平成27年度を予定している。⇒問3③に進んでください。
2. 平成28年度以降で検討している。
具体的な移行時期
ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降
⇒問3②, ③をお答えください。

問3 平成27年度以降の利用定員について伺います。

① (問1で「1」を回答した方に伺います。)

平成27年度以降の保育所の利用定員は何人を予定していますか。

2号認定子ども_____人, 3号認定子ども_____人

⇒問4に進んでください。

② (問2で「2」を回答した方に伺います。)

認定こども園移行以前の利用定員は何人を予定していますか。

2号認定子ども_____人, 3号認定子ども_____人

③ (問2で「1」「2」を回答した方に伺います。)

認定こども園移行後の利用定員は何人を予定していますか。

1号認定子ども_____人, 2号認定子ども_____人,
3号認定子ども_____人,

※1号認定子ども…満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、2号認定子ども以外のもの(1号認定子ども)

※2号認定子ども…満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの

※3号認定子ども…満3歳未満の小学校就学前の子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの

⇒問4に進んでください。

〔認可定員の変更等〕

問4

① 平成27年度において、貴施設における利用定員の設定にあたり、現在の認可定員を変更する予定がありますか。

1. 認可定員を変更する予定である。 ⇒②に進んでください。
2. 認可定員を変更する予定はない。

② (①で「1」を回答した方に伺います。)

現時点で予定している変更後の認可定員は何名ですか。

変更後の認可定員_____人

※ 「認可定員」については、1号、2号、3号認定の子どもの合計数であり、原則的に「認可定員」 \geq 「利用定員」となるように設定する必要があります。

⇒問5に進んでください。

〔施設の整備〕

問5

①（問1で「2」を回答した方（「認定こども園へ移行した上で新制度に移行する」方）に伺います。）

認定こども園となる際に、施設の整備を想定していますか。

1. 施設の整備を想定している。 ⇒②に進んでください。
2. 施設の整備を想定していない。 ⇒③に進んでください。

②（①で「1」を回答した方に伺います。）

認定こども園に移行し、どのような施設の整備を想定していますか。

1. 増改築など（園舎全体における大規模な整備）
2. 施設の改修など（園舎全体における中規模な整備）
3. 施設の一部改修による保育室、便所などの整備など（施設の一部における規模の小さな整備）
4. 上記以外の対応を検討している。
（具体的に記述してください。）

[]

⇒問6に進んでください。

③（①で「2」を回答した方に伺います。）

認定こども園に移行し、どのような対応により受け入れを行いますか。

具体的に記述してください。

[]

例：空いている保育室を教室などに活用

⇒ 問6に進んでください。

- ④ (問1で「1」を回答した方(「現在の保育所として新制度に移行する」方に伺います。)

平成27年度以降、施設の整備を想定していますか。

1. 施設の整備を想定している。 ⇒⑤に進んでください。
2. 施設の整備を想定していない。 ⇒ 問6に進んでください。

- ⑤ (④で「1」を回答した方に伺います。)

どのような施設の整備を想定していますか。

1. 増改築など(園舎全体における大規模な整備)
2. 施設の改修など(園舎全体における中規模な整備)
3. 施設の一部改修による保育室、便所などの整備など(施設の一部における規模の小さな整備)
4. 分園など上記以外の対応を検討している。
(具体的に記述してください。)

[]

⇒ 問6に進んでください。

〔地域子ども・子育て支援事業の実施希望〕

問6

- ① 平成27年度以降、貴施設において「地域子ども・子育て支援事業」の実施希望はありますか。ある場合については、下表の事業を選択の上、現時点で想定している利用者数の概数や、実施スペースについてお書きください。
 なお、現時点で実施している事業がある場合については実施している事業を選択いただき、実際の利用者数や実施スペースをお書きください。

事業名	内容	希望等	利用者数概数※	実施スペース
地域子育て支援拠点事業 (子育てサロン)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 _____ 〕
一時預かり事業 (保育所型)	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かり、必要な保護を行う事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 _____ 〕
時間外保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	/
病児保育事業 (体調不良時の受け入れを除く)	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業	1. 実施している。 2. 実施を希望する。 3. 実施する方向で検討している。 4. 実施を希望しない。 5. 未定である。	_____人/年 _____人/月 _____人/日	1. 既存施設で実施 2. 施設整備の上、実施 3. その他 〔 _____ 〕

※ 利用者数概数は、年、月、日のいずれかの単位で記入してください。

- ② (①で「時間外保育事業」について、「1. 実施している。」「2. 実施を希望する。」または「3. 実施する方向で検討している。」を回答した方に伺います。)

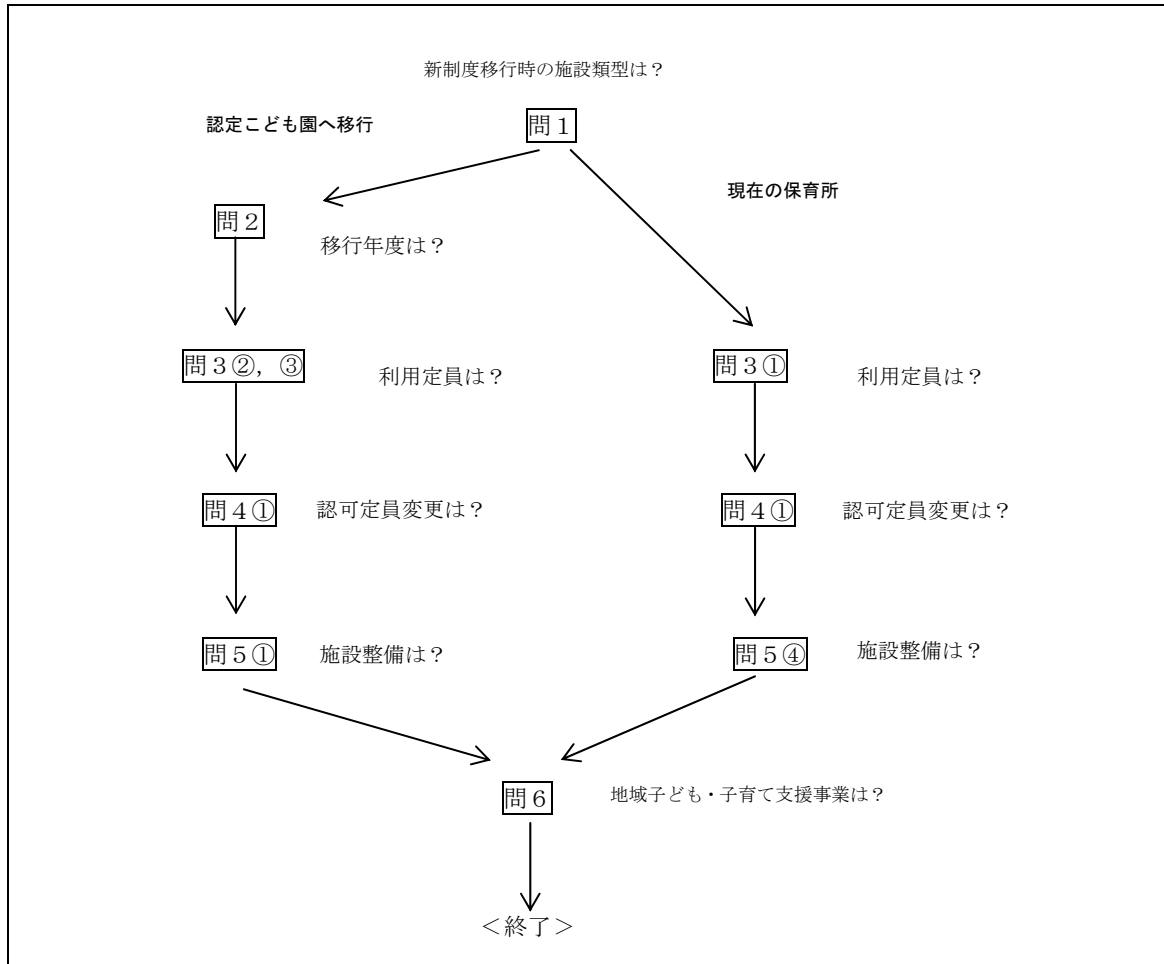
「時間外保育事業」を実施するにあたって、実施する曜日、時間などをどのように想定していますか。実施する曜日、時間などを下記から選択してください。

(日曜日、祝日等における保育の実施(休日保育)については、施設型給付の対象となりますが、併せて意向をご記入ください。)

曜日	実施の有無	実施時間
平日	実施する・実施しない	: ~ :
土曜日	実施する・実施しない	: ~ :
日曜日 祝日等	実施する・実施しない	: ~ :

⇒以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

質問票フローチャート（保育所向け）



認可外保育施設の子ども・子育て支援新制度への移行に関する

意向調査 質問票

<回答方法>

- ・選択型の質問については、数字（1，2，3…），記号（ア，イ，ウ…）に○をつけてください。
- ・記述型の質問については、欄に記載してください。

まず最初に、貴施設の基本情報を記入してください。

1. 施設名 _____
2. 設置者名 _____
3. 所在市町村名 _____
4. 施設の種類 ア. 事業所内保育施設 ⇒5に進んでください。
 イ. 1以外の認可外保育施設 ⇒6に進んでください。
5. (4で「ア」を答えた方)
併設する事業者の種類
1. 病院 2. 福祉施設 3. 小売業 4. 製造業 5. その他 ()
6. 事業所が定めている定員 _____人
※ 平成26年4月1日現在の状況を記入してください。
(内訳)
0歳児 _____人
1歳児 _____人
2歳児 _____人
3歳児 _____人
4歳児 _____人
5歳児 _____人
学童 _____人

次に、貴施設の平成26年度現在の利用状況について記入してください。

1. 在籍園児数_____人

※ 平成26年4月1日現在の状況を記入してください。

(内訳)

0歳児_____人

1歳児_____人

2歳児_____人

3歳児_____人

4歳児_____人

5歳児_____人

学童 _____人

2. 園児の居住市町村別の内訳

ア 全園児が施設の所在市町村に居住している。

イ 施設の所在市町村以外の市町村から通う園児がいるが、内訳は特に把握していない。

ウ 園児の居住市町村の状況を把握している。⇒内訳を記入してください。

市町村の名称					
園児数					

3. 提供するサービス内容

1. 月極契約 2. 一時預かり 3. 夜間保育 4. 24時間保育
5. 学童 6. 休日保育 7. 病児保育

〔平成27年度（新制度施行1年目）以降の予定〕

※子ども・子育て支援新制度では、保育を必要とする子どもを対象に、小規模保育（利用定員6～19人以下）、家庭的保育（利用定員5人以下）、居宅訪問型保育、事業所内保育（主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもに保育を提供）などを市の認可事業（以下「地域型保育事業」）に位置づけた上で、地域型保育給付の対象とします。

問1 子ども・子育て支援新制度への移行（地域型保育給付の対象施設として、市町村から子ども・子育て支援法に基づく認可・確認を受けること。以下同じ。）について、現時点での貴施設における今後の希望をお答えください。

1. 認可外保育施設から地域型保育事業に移行する。
- | | | | |
|--------|--------------|------------|----------|
| 変更後の類型 | 1. 小規模A型 | 2. 小規模B型 | 3. 小規模C型 |
| | 4. 事業所内保育事業 | 5. 家庭的保育事業 | |
| | 6. 居宅訪問型保育事業 | | |

⇒問2に進んでください。

2. 地域型保育事業には移行しない。⇒問4に進んでください。

3. 上記以外の対応を検討している。⇒問5に進んでください。

※ 新制度への移行に関する正式な手続は、子ども・子育て支援法に基づく認可・確認により行うこととなります。その手続については、今後、案内をしていく予定ですが、今回の調査に対する回答内容に拘束されるものではありません。

問2 （問1で「1」を回答した方に伺います。）

① 地域型保育事業に移行する時期はいつを予定していますか。

1. 平成27年度を予定している。
2. 平成28年度以降で検討している。

具体的な移行時期

ア 平成28年度 イ 平成29年度 ウ 平成30年度以降

② 地域型保育事業に移行した場合、保育を必要とする子どもに対する保育以外に、提供するサービス内容は何を考えていますか。

1. 一時預かり 2. 夜間保育 3. 24時間保育 4. 学童 5. 休日保育
6. 病児保育

③ 平成27年度以降の地域型保育事業の利用定員は何人を予定していますか。

0～2歳_____人

④ 受け入れ児童が3歳以上になる際の連携施設を想定していますか。

1. 想定している。
(具体的に記述してください。)

[]

2. 想定していない。

⑤ 受け入れ児童に対する給食の提供はどのように行いますか。

1. 自園調理により提供する。
2. 連携施設において調理し、搬入する。
3. その他

[]

※ 自園調理(経過措置あり)または連携施設からの搬入が基本。

⇒問3に進んでください。

〔施設の整備〕

問3

①（問1で「1」を回答した方に伺います。）

地域型保育事業に移行する際に、施設の整備を想定していますか。

1. 施設の整備を想定している。 ⇒②に進んでください。
2. 施設の整備を想定していない。 ⇒③に進んでください。

②（①で「1」を回答した方に伺います。）

どのような施設の整備を想定していますか。

1. 増改築など（園舎全体における大規模な整備）
2. 施設の改修など（園舎全体における中規模な整備）
3. 施設の一部改修による保育室、給食室、調乳室、ほふく室、便所などの整備など（施設の一部における規模の小さな整備）
4. 上記以外の対応を検討している。
（具体的に記述してください。）

[]

⇒以上で終了です。ありがとうございました。

③（①で「2」を回答した方に伺います。）

地域型保育事業等を実施し、保育を必要とする子どもの受け入れを行うにあたり、どのような対応により受け入れを行いますか。具体的に記述してください。

[]

例：現在使用している保育スペースを活用 など

⇒以上で終了です。ありがとうございました。

問4 (問1で「2」を回答した方に伺います。)

地域型保育事業への移行をしない理由は何ですか。

1. 地域の児童を受け入れる余裕がない。
2. 19人以下の施設にはなれない。
3. 従業員の福利厚生のみを目的とした事業所内保育施設となる。
4. 上記以外の対応を検討している。

(具体的に記述してください。)

[]

⇒ 以上で終了です。ありがとうございました。

問5 (問1で「3」を回答した方に伺います。)

現在検討している内容は何ですか。

1. 教育保育施設(保育所等)になることを検討している。
2. 上記以外の対応を検討している。

(具体的に記述してください。)

[]

⇒ 以上で終了です。ありがとうございました。

質問票フローチャート（認可外保育施設向け）

